

2023年度  
環境経営レポート

対象期間：2023年5月 ～ 2024年4月



2024.6.21 発行

株式会社 ジー・テック

<https://www.gtec88.co.jp/company>

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

# 目 次

1. 会社の概要	.....	P.1
2. 認証・登録の対象範囲	.....	P.1
3. 実施体制表	.....	P.2
4. 経営環境方針	.....	P.3
5. 環境経営目標	.....	P.4
6. 環境経営計画	.....	P.5
7. 環境経営目標の実績	.....	P.6
8. 環境経営計画の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容	.....	P.7
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、控訴等の有無	.....	P.8
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	.....	P.9

## 1. 会社概要

- 1) 会社名： 株式会社 ジー・テック
- 代表者氏名： 代表取締役 川副 浩正
- 2) 所在地： 〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島2丁目5-21
- 3) 環境管理責任者： 江上 雅孝  
連絡担当 中村 知子
- 連絡先： TEL:0952(37)5768 FAX:0952(37)5008  
URL:https://gtec88.co.jp  
E-mail:m-egami.g-tec@themis.ocn.ne.jp
- 4) 事業の内容： 電気通信工事業  
(設計・施工・保守・配管・防犯カメラ・LAN・ビジネスフォン)  
電気工事業(一般住宅電気工事・冷暖房空調設備・太陽光発電)  
土木工事業(土木全般・造成工事・外構工事・通信土木)  
とび・土工工事業(土工事・盛土工事・コンクリート工事・はつり工事)
- 5) 事業認可： 佐賀県知事許可(般-3)第11659号  
佐賀県産廃収集運搬許可 第04101190532号

- 6) 事業の規模：

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	365	312	390
従業員数	人	17	19	19
延床面積	m <sup>2</sup>	124 (※1)	530	530
車両台数	台	16	17	17

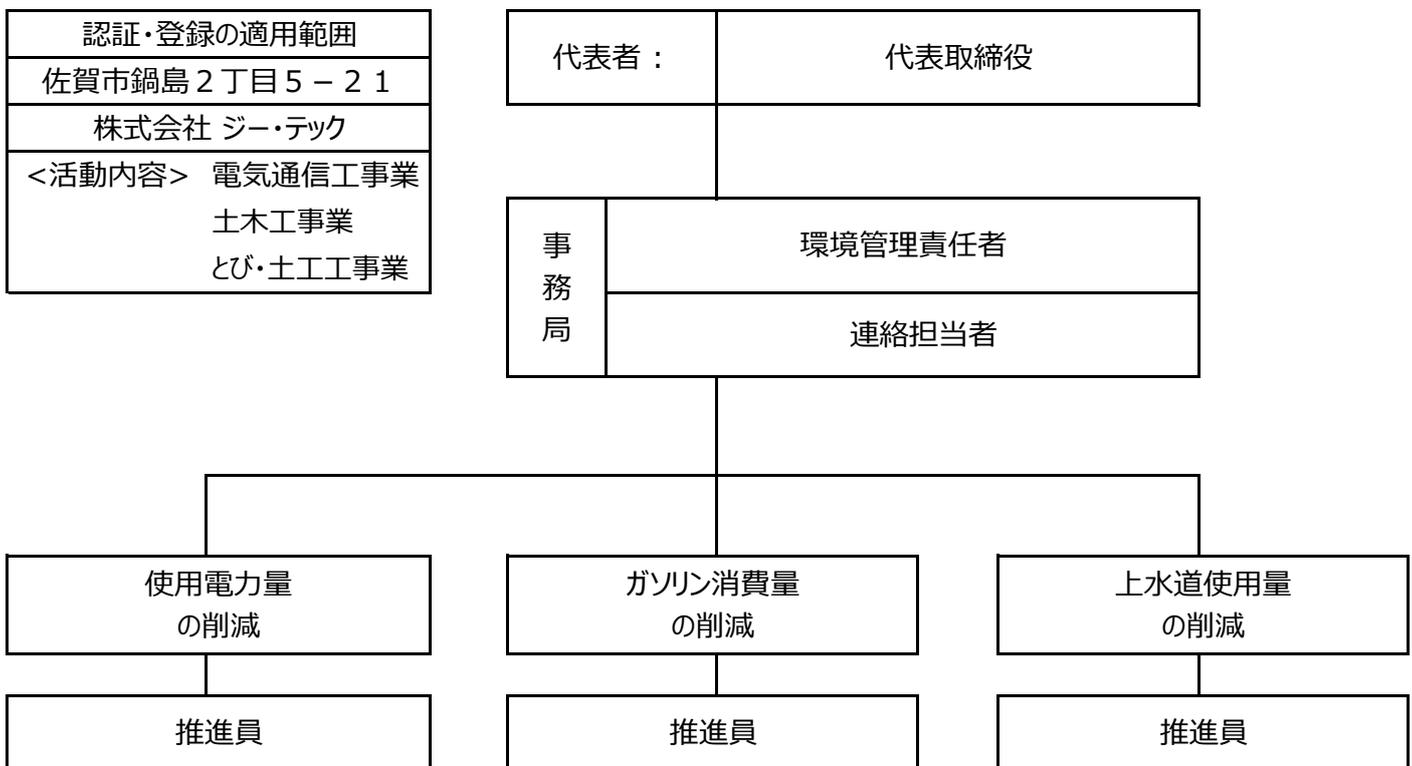
※1: 旧社屋面積 (2022.5移転)

- 7) 事業年度： 5月～翌年4月

## 2. 認証・登録の対象範囲

- 1) 事業活動： 電気通信工事業、土木工事業、とび・土工工事業
- 2) 登録組織名： 株式会社 ジー・テック

### 3. エコアクション21 実施体制表



区分	主な役割
代表者	全体統括、環境経営方針の策定、環境取組みに関する資金対応 全体評価と見直し 経営の課題とチャンスの整理及び明確化
環境管理責任者	環境取組み項目・環境経営目標及び経営計画策定への参画
事務局	環境負荷の現状把握・分析、環境取組み項目の立案 取組み実績の把握、環境経営レポートの作成立案 環境活動システム運用における事務手続き
推進者	各取組み項目の目標達成に向けた取組み推進、結果確認と改善活動
社員	活動計画に基づく活動の積極的な実践

## 4. 環境経営方針

株式会社ジー・テックは、危惧される地球温暖化や資源の枯渇を再認識し、電気通信設備の保全及びその他工事に伴う設計・施工・維持作業などに於いて、地球環境を護るため省資源・省エネルギー、廃棄物の削減等の環境へ配慮した活動を積極的に行い、自然環境の維持に努めます。

### 1. 環境保全活動を推進するにあたり、以下の主な活動項目を掲げ取り組みます

#### (1) 二酸化炭素排出量の削減

使用電力量の削減、化石燃料の削減に努めます

#### (2) 廃棄物排出量の削減

廃棄物の発生を抑制し、再利用の向上に努めます

#### (3) 水使用量の削減

適切な水量調節を行い、節水に努めます

#### (4) グリーン購入の推進等による環境への配慮

無駄をなくし、再生品の使用による循環型を促進するよう努めます

### 2. 適用される環境関連法規等を遵守します

適用される環境関連法規の遵守はもとより、自らの責任に於いて環境負荷低減目標を設定し、その実現に努めます

### 3. 環境経営について継続的な改善を行います

環境を護るための情報による知識共有を図り、一人一人が社会の一員として環境保全活動を実践できるよう、社員育成に努めます



制定日 2022年 9月 1日

株式会社ジー・テック  
代表取締役 川副 浩正

## 5. 環境経営目標

環境目標	サイト 区分	単位	基準年度	目標			
			年度	2023年度 (1%削減)	2024年度 (1%削減)	2025年度 (1.5%削減)	2026年度 (1.5%削減)
			2022年5月 ～2023年4月	2023年5月 ～2024年4月	2024年5月 ～2025年4月	2025年5月 ～2026年4月	2026年5月 ～2027年4月
1.二酸化炭素排出量の削減	事務所	kg-CO2	87,286	86,415	86,415	85,978	85,978
①電気使用量の削減	事務所	kWh	23,805	23,567	23,567	23,448	23,448
②ガソリン使用量の削減	事務所	L	11,347	11,234	11,234	11,177	11,177
③軽油使用量の削減	現場	L	19,633	19,437	19,437	19,339	19,339

※ 目標は基準年度に対する削減率 (%) とする

2.廃棄物の削減							
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	480	476	476	473	473
②産業廃棄物のリサイクル率向上	現場	%	100	100	100	100	100

3.水の使用量の削減							
水の使用量の削減	事務所	m <sup>3</sup>	50	49.5	49.5	49.3	49.3

4.グリーン購入の推進等による環境への配慮							
環境ラベル認定品や再生材料生産品の購入、低燃費・低排出ガソリン車の購入検討	事務所	-	-	※ グリーン購入検討の推進			

5.環境保全に関わる取り組み							
省資源・省エネ型設計・施工の提案及び研修会の参加	事務所	件	1	1	1	1	1

※ 弊社事業の工程及び原材料等に於いては、化学物質を含む製品を扱いません

## 6. 環境経営計画 (2023 年度)

取組み目標				スケジュール			
				5~7月	8月~10月	11月~1月	2月~4月
1.二酸化炭素排出量の削減							
① 電気使用量の削減	事務所	中村	細目な消灯	←			→
			退社時、外出時のOA機器電源断	←			→
			エアコン温度のエコ設定	←	→	←	→
			個室の必要時以外の消灯	←			→
			個室の必要時以外の空調電源断	←			→
② ガソリン使用量の削減	事務所	山下	アイドリングストップの実施	←			→
			急発進、急停止の抑制	←			→
③ 軽油使用量の削減	現場		不要な荷物を載せない	←			→
			急発進、急停止の抑制	←			→
			作業操作後の細目なエンジンストップ	←			→
2.廃棄物の削減							
① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	江崎	分別によるリサイクルの推進	←			→
			コピー用紙裏紙の利用	←			→
② 産業廃棄物のリサイクル率向上	現場	山下	分別によるリサイクルの推進	←			→
			産廃マニフェスト帳簿管理徹底と担当内共有	←			→
3.水使用量の削減							
水の使用量の削減	事務所	江崎	配水管・器具漏水や蛇口閉め忘れの確認	←			→
			溜め洗いの励行	←			→
4.グリーン購入の推進等による環境への配慮							
環境ラベル認定品や再生材料生産品の購入 低燃費・低排出ガス車の購入検討	事務所	中村	使用材料及び購入品管理	←			→
			車両更改に併せた購入検討	発生の都度			
5.環境保全に関わる取り組み							
省資源・省エネ型設計・施工の提案及び 研修会の参加	事務所	江上	二酸化炭素排出量、廃棄物削減進捗の管理	←			→
			必要な対策の見直し及び勉強会の開催	▲			

## 7. 環境経営目標の実績

環境目標	サイト 区分	単位	基準年 2022年度	2023年5月～2024年4月 (2023年度)				
				目標	実績	差異	結果の評価及び要因	
1.二酸化炭素排出量の削減	事務所	kg-CO2	87,286	86,415	98,784	+12,369	×	・業務拡大による車両増備及び エリア拡大による車両稼働増 ・削減取り組みの不徹底 ・複合業務による移動範囲増
①電気使用量の削減	事務所	kWh	23,805	23,567	24,067	+500	×	
②ガソリン使用量の削減	事務所	L	11,347	11,234	12,746	+1,512	×	
③軽油使用量の削減	現場	L	19,633	19,437	22,788	+3,351	×	
2.廃棄物の削減								
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	480	476	480	+4	×	業務拡大によるシュレッター ごみの増加
②産業廃棄物のリサイクル率向上	現場	%	100	100	100	±0	○	マニフェスト整備による適正化
3.水の使用量の削減								
水の使用量の削減	事務所	m <sup>3</sup>	50	49.5	54.0	+4.5	×	社屋規模の増大
4.グリーン購入の推進等による環境への配慮								
環境ラベル認定品や再生材料生産品の購入 低燃費・低排出ガス車の購入検討	事務所	-	-	※ グリーン購入検討の推進			○	再生コピー用紙、裏紙使用の 導入による効果
5.環境保全に関わる取り組み								
省資源・省エネ型設計・施工の提案及び 研修会の参加	事務所	件	1	1	1	±0	○	研修会の実施及び朝礼時の 社員周知を実施

※ 二酸化炭素排出量の計算に用いた排出係数：0.433kg/kwh(九州電力 2022実績/環境省2023.7.14公表)を適用

※ 目標設定の考え方:2022年度(基準年)実績×99%(1%削減)

※ 弊社事業の工程及び原材料等に於いては、化学物質を含む製品を扱いません

※ 結果の評価 ○：達成できた ×：達成出来ていない -：対象なし

## 8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次期対象期間の取り組み計画

活動項目			実施状況				対象期間の評価	次期対象期間の 取り組み計画		
			1Q	2Q	3Q	4Q				
1.二酸化炭素排出量の削減										
①	電気使用量の削減	細目な消灯	△	△	○	○	事務所規模及び車両稼働の増大が影響しているが、削減取り組みが徹底されておらず、目標達成できていない <散見された事項> ①トイレ・給湯室の消し忘れ ②エアコンのエコ設定戻し忘れ ③車両燃料使用量の増加	環境経営目標(P4)及び環境経営計画(P5)による取り組みを継続する。併せて下記の次年度施策検討を行う ・年度初めに具体的な削減に向けた取り組み方法を再周知 ・四半期毎の実績を共有 ・随時点検による取り組み状況の確認結果を共有し、更なる削減意識醸成を図る		
		退社・外出時のOA機器電源断	○	○	○	○				
		エアコン温度のエコ設定	○	△	○	△				
		個室の必要時以外の消灯	○	○	○	○				
		個室の必要時以外の空調電源断	○	○	○	○				
②	ガソリン使用量の削減	アイドリングストップの実施	○	○	○	○				
		急発進、急停止の抑制	○	○	○	○				
③	軽油使用量の削減	不要な荷物を載せない	△	△	△	△				
		急発進、急停止の抑制	○	○	○	○				
		細目なエンジンストップ	○	○	○	○				
2.廃棄物の削減										
①	一般廃棄物排出量の削減	分別によるリサイクルの推進	○	○	○	○	方面別に産廃処理業者と年間契約を結び、処理の適正化を図った	・エリア拡大に伴う、産廃業者の追加 ・マニフェスト管理の徹底		
		コピー用紙裏紙の利用	○	○	○	○				
②	産業廃棄物のリサイクル率向上	分別によるリサイクルの推進	○	○	○	○				
		産廃マニフェスト管理と共有	○	○	○	○				
3.水使用量の削減										
水の使用量の削減	配水器具漏水や蛇口閉め忘れ 溜め洗いの励行	△	○	○	○	工具洗浄の水を多量に使用	高圧洗浄機により少ない水量で効率的に洗浄			
		△	△	△	○					
4.グリーン購入の推進等による環境への配慮										
環境フェア認定品や再生材料工産品の購入、低燃費・低排出ガス車の購入検討	使用材料及び購入品管理	-	-	-	○	再生紙、裏紙の使用、低排出ガス車両の導入による効果	用途に応じた、再生紙、裏紙の使用促進			
	車両更改に併せた購入検討	-	-	-	-					
5.環境保全に関わる管理・研修実施の取り組み										
省資源・省エネ型設計・施工の提案及び研修会の参加	Co2排出量、廃棄物削減の管理	○	○	○	○	社員全員への環境保全意識醸成	目標達成に向けた取り組み対策の随時検討			
	対策の見直し、勉強会の開催	○	-	-	-					

○：達成できた △：概ね達成したが十分とは言えない ×：達成出来ていない -：対象なし

## 9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、控訴などの有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規などは次の通りです。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）
廃棄物処理法 （廃棄物の処理及び清掃に関する法律）	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
水質汚濁防止法	排出規制等基準の遵守、排水の汚濁防止措置
騒音規制法	特定建設作業の届け出 作業現場における機械使用騒音レベル規制基準の遵守
振動規制法	特定建設作業の届け出 作業現場における機械使用振動レベル規制基準の遵守
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）	基準適合表示の付された特定特殊自動車の使用
確認結果及び確認日: 2024年6月14日	
上記、環境関連法規などの遵守状況を確認・評価した結果、違反はありません。又、関係機関等からの私的、利害関係者からの控訴もありません。	

## 10. 代表者による取組状況の評価及び見直し・指示

	環境経営目標	目標の達成状況	取組計画の実施状況	記事
実施結果	二酸化炭素排出量の削減	×	○	取り組みを行うが数値が未達成
	廃棄物の削減	×	○	
	水使用量の削減	×	○	
	グリーン購入の推進等による環境への配慮	○	○	取り組みによる成果あり
	環境保全に関する研修等の実施	○	○	
評価 及び 指示	評価及び今後の検討事項	<p>緊急対応訓練や産業廃棄物の適正処理により一定程度の成果を得たが、二酸化炭素排出量の削減が出来ず残念な結果となった。これは、気候変動と思われる環境温度により電気料金が増加したことや、複合業務量及びエリア拡大により燃料消費量が大幅に増大したことが大きな要因である。</p> <p>実態に即した目標値の再検討による、社員の達成意欲を向上するとともに成果を精査し、より具体的な削減方法を検討する必要がある。</p>		
	指示	<p>実行推進員を中心とした取り組みにより、社内の環境保全意識は徐々に向上している。</p> <p>更なる充実を図るため、以下のことを推進すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本年度実績を踏まえ、原単位による補正を行い削減目標と計画の再設定を行うこと</li> <li>2) 未達成の環境目標を重点的に再検討し、優良事例などによる具体的な削減策を立案し実行すること</li> <li>3) 成果のフィードバックを月次集計時に行うこと</li> </ol> <p>今後も、環境経営方針及び実施体制の継続とし、自然環境の維持に務めることとする。</p>		

2024年 6月 14日

株式会社ジー・テック

代表取締役 川副 浩正